
リトルシニアリーグ試合参加の一般的規則

【 引率責任者 】

- 大会に出場する各チームは、必ず成人である責任者が引率し、チームを管理しなければならない。

【 試合への参加者 】

- 大会に出場のベンチ内には登録選手25名以内と、登録した監督・コーチ・スコアラー各1名の他は入れない。
- 試合に出場する各チームの選手・監督・コーチは必ず所定のワッペンを左の肩口に付けた同一のユニホームを着用し、選手の背番号は1～25、監督30、コーチ40・50、予備コーチ60・70を付けること。
- 長髪及び茶髪の選手・監督・スコアラーは、ベンチに入れられないこともあるので、整髪して大会に臨むこと。（眉そり、ミサング着用も禁止）

【 試合の成立 】

- 試合は7回とする。3回終了時15点差、4回終了時10点差、5回終了時7点差の場合は、コールドゲームとする。
- 7回終了時同点の場合は延長戦に入るが、延長は14回迄とし、尚、同点の場合は再試合とする。
- 降雨・日没・その他の理由により、試合続行不可能と当該審判員が協議の上決定した場合、4回終了を以って正式試合とする。それ以前の場合は再試合とする。

【 フェアプレーの徹底 】

- 安全を守るため、故意に相手選手を傷つけるような行為を禁止する。そのような行為について当該審判員の判断により、その選手を退場させることがある。
（例）手、足を高く掲げてのスライディング
- 次のようなアンフェアなプレーも禁止する。
（例）打者走者がスリーフットライン内を走らず、一塁への送球を妨害する行為
捕手、野手が走者の走路に立ったり、ベースを隠す行為
打者が盗塁を助けるため意図的に空振りスイングをする行為

【 時間短縮とマナー 】

- 攻守交替は全力疾走で行うこと。

- 先頭打者、次打者、ベースコーチはミーティングに参加しない。
- 次打者は、ネクストサークル内で投手が打者に対して投球したら、打球から身をかわせる姿勢でプレーを見守る。投手が投球していないときは周りに注意したうえでスイングしてもよい。
- 打者はみだりにバッターボックスから出ない。サインを見るためにボックスから出ないこと。
- ベンチ、選手間のサインは複雑なものは使わない。
- 投手が審判からボールを受けた時、打者が打席に入るときの礼は省略してもよい。
- バッグなど持ち物は試合開始前に整理整頓する。

【 抗議及び通告 】

- 監督・コーチ・選手は、ストライク・ボール・アウト・セーフ・フェア・ファールボールの判定については、いかなる抗議も申し立てることは出来ない。
- 監督の抗議は、当該審判員が規則適用の誤りを犯している時に限って抗議できる。

【 応援 】

- 相手方選手に対する個人攻撃の野次は、ベンチ内はもとより、応援者もこれを禁止する。

【 用具 】

- 金属バット及びヘルメットは公認されたものを使用しバットリング・鉄棒は球場への持込を禁止する。手袋は派手にならないものの使用は差し支えない。

【 その他 】

- 捕手、ベースコーチはラインの中にいること。
- サイドノックは原則禁止。
- 試合中のボール回しは禁止